

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名		菊池川流域清流保全協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	市民部
	施策	10	水環境の保全			所属課	環境衛生課
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	環境衛生班
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10207	法令根拠
						菊池川流域清流保全協議会規約	
						成果優先度評価結果	
						コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和57年菊池川流域清流保全協議会参画のため開始した。水質に関する情報の交換、水質監視、水質汚濁防止事業、水質汚濁防止広報事業を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	研修会参加、負担金納入事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
協議会参加、負担金納入事務	平成23年度より負担金廃止
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 会議参加者数	人 前年度が骨格予算であったことによるものであり、平成23年度から負担金廃止による減
イ 訓練参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
環境衛生課職員	(単位) 人
	→ ア 環境衛生課職員
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
菊池川に関する情報の収集ができる。	(単位) %
菊池川に関する知識を身につけることができる。	→ ア 新たな知識を入手できた件数と割合
	イ 新たな知識を身につけた職員の割合
	%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 人		0	0	1	3	0	0	0
	イ 人		0	0	1	1	0	0	0
② 対象指標	ア 人		0	0	7	7	0	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア %		0	0	100	100	0	0	0
	イ %		0	0	100	100	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円				20		
人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	20	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	20	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	0	0	123	0	0	0
正規職員従事人数	人	0	0	0	3	0	0	0	
延べ業務時間	時間	0	0	0	30	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	143	0	0	0	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	菊池川流域清流保全協議会参画事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 協議会への参画により、菊池川に関する情報の収集、知識を身につけることができるので目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 新たな知識を得るための参画事業であり、その都度成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協議会負担金をなくすことで事業費を削減できる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協議会参画事業であり困難。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 菊池川水系ということで市民全員が受益者とはいえないが、菊池川の水質保全の観点から公平と考える。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 菊池川流域清流保全協議会参画のため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は協議会への参加、負担金納入事務を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

積極的に研修会等に参加する。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

積極的に研修会等に参加し知識の向上に努める。